

# かながわの交通

**2025  
9月号**

交通安全年間スローガン 受賞作品（内閣府特命担当大臣賞） こどもたちに交通安全を呼びかける部門

# 見えないを 見えるに変える 反射材



# 令和7年 秋の全国交通安全運動

～ 9月21日(日)から9月30日(火)の10日間～  
9月30日(火)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

## 目 的

この運動は、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故を防止することを目的としています。

## スローガン

～ 反射材 わたしとかがやく 夜の道 ～  
～ 高齢者 模範を示そう 交通マナー ～

## 運動の重点

- 1 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- 2 ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進
- 4 二輪車の交通事故防止

## 交通安全協会の推進する事項

- キャンペーンの開催及びSNSなどを通じて、運動への参加を呼びかけるほか、地域や職場などでの自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 交通指導員等による見守り活動を行います。



## ～令和7年度 高齢者交通事故多発地域の指定について～

令和7年上半期における全ての交通事故に占める高齢者関係事故の割合を見ると、34.6パーセントと高い水準になっており、高齢者に対する交通事故防止対策の推進は喫緊の課題となっています。

そこで、神奈川県交通安全対策協議会では、令和7年上半期に高齢者の関係する交通事故が多発した19地域を、令和7年9月1日付けで「高齢者交通事故多発地域」に指定しました。

該当地域 19地域(6区4市8町1村) ※三浦市は重複

|       | 高齢者交通事故多発地域                           |
|-------|---------------------------------------|
| 指定基準① | 川崎区、中原区、相模原市緑区、小田原市、三浦市、寒川町、大井町、箱根町   |
| 指定基準② | 港南区、三浦市、南足柄市、大磯町、二宮町、松田町、真鶴町、湯河原町、清川村 |
| 指定基準③ | 磯子区、横浜市緑区、横須賀市                        |

**指定基準** 令和7年上半期中の高齢者が関係する交通事故の発生状況をもとに、次のいずれかの基準に該当した地域を指定した。

- ・ **指定基準①** 高齢者人口1万人当たりの高齢者が関係する事故の発生件数が、県内平均より30%以上高いこと(県内平均14.8件、県内平均+30%=19.24件)
- ・ **指定基準②** 全交通事故の発生件数に占める高齢者が関係する事故の割合(構成率)が、県内平均より10ポイント以上高いこと(県内平均34.6件、県内平均+10ポイント=44.6件)
- ・ **指定基準③** 高齢者が関係する事故の死者数が、3人以上の市区町村

# ☆第57回交通安全こども自転車全国大会結果☆

## 神奈川県代表 横浜市立鶴ヶ峰小学校

令和7年8月6日(水)東京ビッグサイトにおいて「第57回交通安全こども自転車全国大会」が開催され、横浜市立鶴ヶ峰小学校チームが神奈川県代表チームとして本大会に出場しました。



神奈川県代表選手



選手整列



学科試験会場の様子



各選手の技能走行テストの様子

来年は  
優勝を目指して  
頑張ろう。  
「がんばれ！  
神奈川」

結果については、惜しくも上位入賞は逃しましたが、選手は緊張の中、自分の実力を充分に発揮しました。優勝は、埼玉県代表秩父市立秩父第一小学校、第二位は静岡県代表浜松市立平山小学校、第三位は福岡県代表久留米市立小森野小学校となりました。

今回、児童の指導に当たった旭交通安全協会、酒巻和雄交通指導員は、「来年は、今回出場した5年生選手を中心に今大会のリベンジを図りたい。」と、力強い言葉がありました。

